

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」南松本校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	・特性、支援人数によってパーテーションや机の配置等の環境編成をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	・適切な個別支援が提供できるよう、支援時間帯利用人数の調整を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1	・視覚的に理解しやすい表示物を心掛けている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	・その都度重要事項の共有や、毎週 1 回の職員会議によって検討・連携している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	・評価表をもとに、業務改善に向けた会議を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	・本社へ報告し、ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	・調査結果によって業務改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・内部研修を定期的に行い、専門性を高められるよう努めている。また、行政による外部での研修にも可能な限りに参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・面談を 2 人で行い、情報の偏りが無いよう努め、職員間での検討会議を重ねて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	・標準化されたアセスメントツールを使用し、特性に応じて項目以外の聞き取りも行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・週 1 回職員会議を行い、利用児個々の進捗状況を共有しながらすすめている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・職員個々の経験、資格を生かし毎回ではないが、同じねらいをもった支援でも、別視点からの活動を取り入れて支援を行う工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	・休み帳等長期休暇の課題も柔軟に取り組めるよう設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・個別がメインではあるが、集団活動の参加によってつけられる力を含め作成することを心掛けている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・利用児の姿や特性等を踏まえ、予想される行動を共有・確認し対応している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・安全面や重要事項についてはその都度全体共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・支援担当職員が毎回変わる為、支援の進捗状況・課題点等、次回に引き継げるよう徹底している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・利用児の支援状況、保護者様からのニーズを把握し、見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	0	0	・職員個々の専門性を生かし、適切に提供できるよう努めている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	・情報の偏りが無いよう、職員間で支援の状況や課題点を十分確認したうえで参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	・必要な利用児についてはその都度情報共有をし、関係者間での調整を行った上で支援者会議予定日を決定している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	0	・現在医療的ケアを必要とする利用児はいないが、利用があった場合は連携を図る。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	0	・支援者会議開催時に関係者から確認できるよう努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	0	・現在該当する利用児はいないが、必要に応じて適宜連携を図る。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	・定例会議に出席し、助言や研修等情報を共有している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	・プライバシーの観点から現状難しい。今後検討する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	2	・プライバシーの観点から現状難しい。今後検討する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・支援内容や利用児の様子を保護者様へ毎回報告し、共通理解できるよう努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	・月1回の事業所内相談において、ペアレント・トレーニング等の支援を行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	・契約時にご説明をしている。また質問があった場合には、その都度回答をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	・来所時やフィードバック時以外にも、事業所内相談支援を適切に行い、悩みや相談に応じている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	・保護者会は無いが、保護者様同士の交流や情報交換ができる場を月に1回開催している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	・保護者様からのお話を伺い、事業所内で反省点を確認し、今後の対応についていぬいにご説明できるよう努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・おたよりやLINE、ブログ、インスタ等にて必要な情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・書類に関しては鍵付き書庫にて保管、その他利用情報については職員間で取り扱いを十分注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・相談やお悩み等を話しやすい職員の雰囲気、環境を整えることで意思疎通が図りやすいよう心掛けている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	3	・プライバシーの観点から現状難しい。今後検討する。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	・マニュアル策定の上、毎月1回防犯・避難訓練を実施している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・定期的に行い、前回の反省をもとに必要な改善を図っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	・事業所内で時間を確保し、研修をしている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	・該当児童はいないが、虐待防止研修の上で身体拘束についても共有している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	・支援内容に飲食提供はないが、万が一食べてしまったときの対応について再度確認をする。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	・ヒヤリハット発生時の情報共有や対応方法を確認・報告書作成し、いつでも再度閲覧できる状態になっている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」南松本校

保護者等数（児童数）：39 回収数：34 割合：87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	5	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	14	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	34	0	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	34	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	13	13	・学校で交流ができているので必要が無いと考える。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	2	0	・さまざまなニーズにいていねいに対応していただきありがたい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	6	0	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	3	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	2	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	5	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	1	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	4	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	31	3	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	32	2	0	・中学進学の為、英会話ができる専門職員の配置をできたら希望する。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。